

# 埼玉労働山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次  
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正

## 日本勤労者山岳連盟

### 第二十八期第二回評議会

仲間とともに、二十一世紀の「労働らしさ」を求めて！

二月二十一日(土)十三時〇〇分、二十〇分、二十二日(日)八時三十分、十二時〇〇分、会場・晴海グランドホテルにて開催された。

【議長団選出】全国理事浦添氏、全国副会長榊島氏九州)【書記選出】理事会から二名

『開会宣言』藤本副理事長、労働山全国連盟守屋会長から開会の挨拶があつた。

『総会代議員定数確認』代議員総数五十五名、出席代議員五十四名、委任状一名で評議会成立。

全国理事会から議案提案

一号議案\*第二十八期上期(二〇〇八年度)の活動総括と第二十八期下期(二〇〇九年度)の活動方針

二号議案\*新保険業法から労働山遭対基金を守るたための方針(「新特別基金」その定款の提案を含む)

三号議案\*「労働山新総合戦略」および「新メディア戦略」の提案

四号議案\*「第二十八期上期(二〇〇八年度)の一般会計、特別会計、遭対基金会計および特別基金会計の

## 決算報告と監査報告

### 五号議案\*第二十八期下期(二〇〇九年度)の一般会計、特別会計、遭対基金会計および新特別基金会計の提案

一 号議案「斉藤労働山全国理事長説明」

一 登山をめぐる情勢

登山をめぐる社会情勢、日本の登山の全体的な動向について

国際的な登山界の動きとその影響

海外登山の情勢

二 労働山各分野の活動

【組織】労働山の会員数は二〇〇八年十二月末の組織調査で六一団体、二〇五七八名となり、前年に比べ十二団体の減、会員数は六一一名の減となつた。加盟団体の組織実態調査表回答は約半数の団体からあつた。高齢化による山行回数や会員数の減少や指導者不足など、共通した課題が浮かび上がった。

【遭難対策】労働山における遭難事故概況・二〇〇八の事故一報によると事故者数三〇二人、死亡行方不明六名となつている。事故の特徴としては国内全般の遭難事故傾向と同じで中高年登山者が多く

を占めている。そのなかでも七十歳前後の転倒骨折が目立ってきている。中には計画者の段階で無理である山行と判断できる事例も多く見受けられる。

登山ではロープの結束ミスや単純なヒューマンエラーと思われる事故も多発しており、基本的な安全に対する徹底が急務である。また、海外における重大事故も発生している。特徴的な事例の一つは二〇〇八年五月アラスカ・マツキンレーで一人行方不明、十一月ニュージールランド・マン

トクックでの無事救出一人、疲労凍死一人である。二事例とも地元警察による捜索救助活動が行われた。

二号議案「高橋基金管理委員長・副理事長説明」

● 最近の情勢とたたかいの展望

麻生政権は発足して僅かであるのに支持率は急落し、早や末期という状態だ。したがって解散選挙がいつ行われるか、まったく予断を許さない状況である。

二〇一一年は新保険業法見直しの時期あり、自主共済の運動によつては(安易な期待禁物だが)、自主

共済が適用除外になれるチャンスだと考える向きもある。どちらにしても、たまたかの盛り上がりなしに適用除外は実現しない。

● 「新特別基金方式」提案

事後寄付金による「特別基金」は、一年間限定の経過措置として二〇〇八年労働山全国総会で承認されたが、これを整備して保険業法の関係で法的に対応できるように、「新特別基金」の規定(案)と細則(案)が提案された。文言が改正されている。内容は従来の遭対基金とほぼ変更は無い。

定款 規定

第二種基金団体を復活した。詳細は細則を確認して下さい。

管理 運営、契約 加入

第二十六条寄付金

● 「労働山新特別基金の性格と運営について」

『新保険業法下で求められる新特別基金の性格』

新保険業法は、適用除外団体以外の団体における保険・共済活動を規制しており、新特別基金を運営するにあたっては、次のような性格が求められる。

新基金制度が労働山の活動

と一体不可欠の運営であること。

新基金制度は、会員と運営本体とにおいて債権債務の関係が生じないこと。

新基金制度は、対価性や収益性を生じさせるものではないこと。

『労働山新特別基金の位置付け』

労働山新特別基金は、会員の山岳遭難事故における救助活動や遭難予防の活動を財政的に保障するための寄付金制度である。

寄付金の額は、団体・個人の任意による。

単年度ごとに決算し、収益性を伴う資産や負債は次年度に繰り越さない。

予算・決算の承認は、全国連盟総会・評議会が行う。

『労働山新特別基金の規定について』

労働山新特別基金の運営にあたり、新たに求められる性格をふまえ、「労働山遭対基金定款」を基に、「労働山新特別基金」を運営の規則として作成した。

二面へ

一面より続く

三号議案「後藤メディア局長・副理事長説明」

「登山の新しい魅力」と「山らしさ」の具体化

労山公式ホームページを通じて、登山会員方々に「登山の新しい魅力を、山らしさを伝えます。同時に、山外で登山に興味を持つている「未組織・若者」にも公開して、利用できるような工夫をする。

労山公式ホームページに

「こんにちは、ろうさん

コミュニケーションです」(会・

クラブ紹介)

「ろうさん情報ネット」

単発情報の提供をした

いらい鳥目撃情報(常

設) 野生動物調査(山

岳七団体共同事業)(常

設)

各種講習会・登山学校

情報等

新情報増設の提案

労山組織アンケートの促

進と分析

労山優待施設利用の情報

各地方連盟イベント情報

等

「学習ネット」(インタ

ーネット学習)一次指針

・読図・雪崩・天気と特別

講座などが当面の重点。企

画をし、〇九年の早い時期

にカリキュラム試案を完成

させる。現在開催中の講座

は\*高層天気図がよくわかる読図講座、\*山の運動生理学で安全トレニング講座、\*GPSの活用で山での道迷い防止講座、雪崩事故の防止講座、先生と行く知的登山講座、\*先生と学ぶ山自然保護憲章で〇九年度中に三講座の開設をめざす。

四号・五号議案「石川財政

部長・高橋道対管理委員長

説明」

監査報告・小杉、宿谷

二月二十日(日)AM

評議会の討論まとめ

「斉藤労山全国理事長

議案の採択、決算報告、予

算案の承認

一号から五号議案まで賛成

多数で採択されましたので

ご報告致します。

(報告・理事長 武笠)

埼玉県連盟第42期定期総会開催に

ついて

日時：3月29日(日)

午前9時30分受付 10時開会 16時00分閉会予定

場所：「与野本町コミセン」

埼京線与野本町下車徒歩5分

やむを得ず欠席される場合は、別

紙委任状提出をお願い致します。

第十二回理事会報告

二月二十五日(水)県連事務所にて十三名の出席で第十二回理事会を行いました。

活動経過報告・計画予定

【全国連盟活動】

二月二十一～二十二日

第二十八期第二回評議会

於：晴海グランドホテル

・新特別基金を採択

・新メディア戦略について

埼玉県連としての取り組み

を報告した。

【事務局】

・川越トレッキング 脱会

問い合わせ有り

・次回三役会議 三月五日

さいたま市市民活動サポー

トセンター

【財政】

決算書未提出の委員会は早

急に。

【女性】

・二月二十四日女性委員会

・三月七日(土)救急法講習

会

現在参加者十二名、委員五

名

引き続き参加者募る。

【自然保護】

足尾植樹祭参加

四月二十六日(日)

九時半 現地集合

・植樹後、去年の植樹場所

見学を予定。西部ブロッ

クでは備前楯山ハイク

を予定しているのと同

調されるブロックは連

絡を。

次回理事会までに参加者

の一次集約

【救助隊】

二月十四日～十五日 関東

ブロック救助隊深雪搬出訓

練・交流集会 総勢八十五

名、埼玉からは十二名参加

【登山学校】

・二月七日閉校式十二名参

加

・三月二日運営委員会

【山スキーネット】

三月十五日 那須スタレ山

【登山ゼミナール研究】

雪山ゼミナールとしては中

止、大宮労山で山行を実施

するので参加希望者は徳重

まで。

【ブロック活動】

西部：三月一日雪山交流山

行六団体二十六名参加。次

回会合四月二日

南部：三月七日～八日深雪

訓練山行。クリーンハイク

伊豆ヶ岳。次回会合三月十

九日

中部：クリーンハイク笠山。

三月の深雪山行延期、五月

十六～十七日越後駒ヶ岳予

定。次回会合三月十八日。

北部：クリーンハイク蓑山。

議題

第四十二回県連総会

・三月二十九日(日)

於：与野本町コミセン

総会議案の集約状況・役割

分担を確認

・三月二十八日 浦和コミ

センにて議案書製本作業

(午後一時)

第十四期登山学校

二月七日「いけどん」作成

次期役員体制

二名退任、三名新任予定

来年度予算について

来年度救助隊関東ブロック

深雪搬出訓練の主管のため

予算措置が必要 三役会議

で考慮して案を作成する。



第13期登山学校

登山学校閉校式を終えて

二月七日(土)

『山は私の学校』

三郷山の会 佐々木陽子

十三回を迎えた埼玉登

山学校に参加する事ができ、

又一つ人生の宝物が増えま

した。山に行く私に「なぜ、

山なの？」と友人に聞かれ

ます。なぜか？あまり考え

た事はありませんが、私に

とつて山は空気と同じ存在

なのです。

秋田の山の中で育った

私は身近に山があり、春は

ワラビ、ゼンマイ、ミズナ、

ホンナ、スギナ、シドケ、

ニヨウ(これは秋田独特の

山菜で分かる人は先ずいま

せん)・などを採り、薪

(杉のこっぱが多い)を拾

う。

秋はシグリ、サグリ、ア

ケビ、ヤマブドウ、ヤマゲ

リ、ナメコ、スギキノコ、

サンボンダイシ・と山の

実りを頂戴し、しまいには

家の手伝いほんなげて山の

てっぺんから大きな声を張

りあげて駆け下り、ジェツ

トコースターに負けない加

速をつけて遊ぶ毎日だった。

山のある生活が私にはふ

さわしい必要不可欠だと

気付いたのは、山のない三

郷で子育てに明け暮れてい

たある秋の日、無性に山の

紅葉を見たくなり息子が小

学校から帰宅する三時まで

に帰れる時間を計算し、日

光の山をたつた十五分見て

帰ったものです。以前観た

中国の映画「山の郵便屋」

の一場面を思い出します。

三面へ続く

二面より続く  
『幼き日にみた母親の眼はいつも遠い故郷の山に向かい深い憂いをたたえていた』母親と重なる娘への思い・娘は山の人間だから山から離れては可愛そう・山の花が都会で根付かないように、人も生まれ育った土地でこそ花ひらくのだろうか・脱線しましたがどのつまりは、私は山が恋しいのです。できれば山姥になりたいのです。

その修行の一步として登山学校を受講しました。どれほど力がついたか分かりませんが、自分ではこの一年でかなり変わったと思っています。まんず地図を見るようになりまし。まんず雲を気にするようになりまし。まんずボンベ持てるようになりまし。まんず少々重くても平気になりました。まんず酒つこの量が増えました。まんずまんず銭こもいっぺえ使つてしましました。昨年引き続きヒマラヤを見に行きたいもんだと思つていますが、この不況にためらつています。又、講師の先生はじめ諸先輩、山の仲間の皆さんに山付き合いをさせていただきます。たいもんだと思つています。

これからもご指導よろしくお願ひします。

**登山学校**

第14期受講生募集!

十四期の登山学校の日程が決まりました。ぜひ各会でご紹介いただき多くの方の参加をお待ちしております。  
\* 受講料 年間二万円  
\* 交通費実費

ホームページにより詳しいご案内を掲載しております。

「埼玉労山」で検索いただくとう登山学校のホームページが探せます。

**日程**

説明会・開校式

五月二十三日(土)

計画から下山まで

六月六日(土)七日(日)

登山と運動生理学

七月四日(土)五日(日)

山での救急法

八月一日(土)二日(日)

地図の読み方

九月五日(土)六日(日)

岩登り(初級)

十月三日(土)四日(日)

天気の見方

十一月七日(土)八日(日)

総合学習登山

十二月五日(土)六日(日) 雪山歩き

一月十六日(土)十七日(日)

開校式 二月六日(土)

(報告 小松)



関東ブロック救助隊 深雪搬出訓練・交流集会

開催日 二〇〇九年二月

十四、十五日(土)日) 場所 群馬県谷川岳土合周

辺

主管 神奈川県連

参加団体: 東京都連、栃木

県連、群馬県連、茨城県連、

神奈川県連、埼玉県連から

は大宮労山五名、ハイジア

ルペンクラブ一名、上福岡

山なみハイキング二名、熊

谷トレッキング同人二名、

所沢ハイキングクラブ一名

三郷山の会一名 計十二名

総計九十一名

訓練、講習、山スキーのグ

ループに分かれる、前日(二

月十四日)、土合山の家で

GPSとPCを使用して机

上と土合周辺に三名が移動

して各々の位置確認を、無

線機を使用したデモンスト

レーションを行い、解説を

交えての講習。

翌日(二月十五日)、搬出

訓練グループは臼井班(東

京、栃木、群馬、神奈川)

十四名、徳重班(神奈川、

埼玉)十一名の二班に分か

れ、実際の遭難事故を想定

し、捜索、梱包、搬出の一

連を実践的な場所で行った。

西黒尾根で遭難事故が発生

本部を土合山の家として臼

井班、徳重班が現場に向か

つて出発する。

谷川岳登山指導センター前

にて捜索班と搬出班を構成

する。搬出班は捜索班の後

方で待機し、遭難事故者を

発見後、すぐに現場に到着

できるような体勢をとる。

GPSと無線機で常に本部

と連絡をとり、現在位置を

知らせる。

西黒尾根下部より上部を目

指し捜索開始、鉄塔下迄到

着するも遭難事故者を発見

できず、本部より指示を仰

ぐ、鉄塔より右斜面に臼井

班、鉄塔より左斜面を徳重

班が二名にて捜索する。こ

の間GPSと無線機で常に

本部と連絡をとり、現在位

置を知らせる。

徳重班の四名は横に間隔を

あけ西黒尾根を目指して捜

索、途中で左端の隊員が遭

難事故者を発見、遭難事故

者の状況を本部に連絡する

とともに後方待機の搬出班

に現場に来るよう指示、遭

難事故者の救護、遭難事故

者をシート梱包、スケッド

ストレッチャーで搬送し、

人口支点(立ち木を使用し

ない雪上)を設置して、

3にて引き上げ、引き下ろ

しの訓練、支点工作、引き

下ろしの繰り返しを十五ピ

ツチ位で谷川岳登山指導セ

ンター前まで搬送し訓練終

了。(搬送途中で遭難事故

者の状況を本部に確認連

絡)その後、本部の土合山

の家にてPC、プロジェク

ター使用により救助隊の軌

跡を分析、解説、反省会に

て本日の搬出訓練を終了。

三郷山の会 尾手利雪 記

十五日の記録

前日の雨とは違ってかわり

晴れ、雪も少なく湿気をお

び、嫌がうえでも暖冬を実

感する。

講習グループは一班十三

名、二班十六名、三班十六

名の「班分け」・捜索梱包、

搬出のグループに分かれて

の活動となった、埼玉県連

は二班に入り梱包からスタ

ートをきった。

七時四十五分、遭難者が

発見されたと設定して、雪

にシートを広げ搬送可能か

否か確認するよう、柴山さ

んから指示がとぶ、保温と

衝撃をなくするためザック、

銀マット等をあてがい傷病

者が横になる、六人でヒュ

ーマンション法にてスト

レッチャーに移し、梱包作

業に取り掛かった。(捜索・

梱包・搬出、基本にそつて

訓練を全員で実践しまし

た)シート梱包(ブルーシ

ート) 四面に続く

三面より続く  
 にカラビナを使用しアンカ  
 ーの芯にした、そこでひね  
 り加えるのだが、寒さもあ  
 りきつくて時間がかかった、  
 負傷者に気を配ったつもり  
 でも、梱包時の締め方、顔  
 に雪その他、又不安になら  
 ない搬送の仕方も重要と思  
 われる。「休憩」  
 九時三十分より搬出場所に  
 移動して、持っている装備  
 で流動分散の支点を作るよ  
 う指示を受け、工作に各自  
 ピッケル埋めてアンカーを  
 作り、強度を確かめる。他  
 に(スノーバー・枝を束ね  
 る・袋に雪詰める)等の説明  
 受けました。

3つのアンカーから支点  
 とりライジンググシステム  
 (ニッ工)工作に入った、引き上  
 げにフリクションノット  
 (ブルージックノット・クレ  
 ムヘイストノット)等を用  
 いたが、カラビナとのバラ  
 ンスの難しさが分かった。  
 「休憩」  
 十一時三十分ピーコン、  
 プローブへと訓練は移る、  
 生存率が十五分後に九十  
 三%、時間追う毎に危険度  
 が高まる。二次遭難を考慮  
 し、特定する時間は五分ほ  
 ど、掘り出しその後の処置  
 に時間を要する。デジタル  
 ピーコンの特性を知り使用  
 すると、短時間で特定する  
 ことが出来た。プローブの  
 訓練では一列に並び搜索、  
 またピンポイントで居場所  
 が判明したら、速やかに掘  
 低体温避けるため外気に触  
 れないようにする事と指示  
 がある。

その後一連の流れで訓練  
 して(搜索・梱包・搬送)十  
 三時三十分「終了」本部に戻  
 る。  
 上福岡山なみハイキングク  
 ラブ 若木 由和 記  
 GPSを用いた搜索救助  
 支援  
 最初にQのを用いた搜索救  
 助支援について、神奈川県  
 連救助隊の方からQのの仕  
 組み、使用方法、Qののデ  
 ータをパソコンに取り込ん  
 でパソコン上の地図ソフト  
 (カシミール)に展開する方  
 法について説明があった。  
 その後、搜索隊役としてQ  
 名が、Qとアマチュア無  
 線機を持って  
 「土合山の家」周辺に出て、  
 Qのから読み取った自分が  
 いる緯度、経度の位置情報  
 を無線を使って本部に見立  
 てた「土合山の家」に連絡  
 し、パソコン上の地図に展  
 開していくというデモンス  
 トレーションが行われた。  
 このデモンストレーション  
 により、Qのを利用した搜  
 索救助支援が搜索隊の位置  
 を逐次把握する上で便利な  
 方法であるという事が感じ  
 られた。一方、Qのが衛星  
 の電波を受信しにくい谷間  
 や鬱蒼とした樹林帯では正  
 確で無い位置情報を示して  
 しまう事や、Qのと地図ソ  
 フトには多くの設定項目が  
 有り、双方が等しく設定さ  
 れていない場合にも正確で  
 無い位置情報が地図に展開  
 されてしまうというリスク  
 が有る事も学んだ。  
 Qのによる搜索救助支援を  
 行うためには、搜索に携わ  
 る全隊員がこれらのリスク  
 を充分に理解し、回避策な  
 どの検討を行った上で利用  
 する事が大切であり、  
 もしも正確で無い位置情報  
 を元に行動してしまった場  
 合には返って混乱を招く事  
 も懸念される。  
 大宮労山 殿塚 洋一 記

関東ブロック救助隊深雪  
 訓練・山スキー班報告  
 → 日目の山スキー班の訓  
 練は都職山の会・頓所氏と  
 練馬山の会・河崎氏の指導  
 で山スキー中の負傷者をソ  
 リを作って搬出する方法を  
 学びました。都職山の会方  
 式はトップとテールに穴の  
 開いたスキーを4本利用し  
 て周りを灌木と針金で固定  
 してソリを作る方法、河崎  
 氏は穴の開いたスキー2本  
 とスコップを使って2等辺  
 三角形のソリを作る方法で  
 した。  
 講師からも説明があつ  
 たように、現在の山スキー  
 のほとんどにはトップにさ  
 え穴が開いていないのです  
 ぐに実践できる方法とはい  
 えませんが、自分や仲間が  
 負傷したときのセルフレス  
 キューを考える上で大いに  
 参考になる訓練でした。  
 都職山の会が、骨折した  
 仲間をソリに乗せて搬出し  
 た経験をもとに、会全体で  
 工夫を重ねて自分たちの搬  
 出方法を確立して行った姿  
 勢は、私たち山スキーを愛  
 好する者が受け継いで今の  
 時代にあつた方法を考えて  
 行かなくてはいけないと思  
 いました。  
 山スキーの装備として、  
 修理用具に灌木が切り出す  
 ためのノコギリとスキーに  
 穴を開けるドリルを加えれ  
 ば、セルフレスキューに役  
 立つと思います。頓所・河  
 崎両氏と各都県の山スキー  
 仲間に感謝します。

編集後記  
 2月下旬に筑波梅林に行  
 ってきました。前日に梅祭  
 りが始まったばかりなの  
 に、紅梅はもう満開でし  
 た。次の週には赤城・黒松  
 山に行ってきました。一面  
 の銀世界でした。関東も広  
 いとつくづく感じました。  
 さて、各会も総会の準備で  
 忙しいことでしょう。頑張  
 ってくださいね。  
 145号は原稿締め切り3月  
 末日、4月6日印刷の予定  
 です。担当者の方はよろし  
 くお願いします。  
 (アオ)

みんなの歌 新人哀歌

作曲者 不詳(日本)  
 編曲者 矢沢 保

(1) いいぞ いいぞと おだてられ 死に物狂いで 来てみれば  
 朝から晩まで 飯炊きで 景色なんぞは 夢のうち

(2) チーフリーダーは じじくさい サブリーダー はばくさい  
 あとの部員は エロくさい メッチェン通れば かしら右

(3) 2年部員は 小生意気 新米なんかと 話好き  
 地獄の二丁目 山岳部 好んで入る 馬鹿も居る

(4) 蝶よ花よと 育てられ 何の苦勞も 知らないで  
 ボッカ稼業に 身をやつし 泣き泣き登る 雪の山

(5) 家へ帰れば お坊ちゃま 山へ入れば 新部員  
 何の因果で しごかれる まぶたに浮かぶ 母の顔

(6) いわゆるあのこは お嬢さま 俺はしがない 山がらす  
 月を眺めて 諦める 笑ってくれるな お月様

熊谷トレッキング同人  
 浅見政人

曲はネリカンプル  
 ースでポピュラー  
 になったこともあ  
 りますが、原曲は不  
 明です。  
 古くから大学山岳  
 部の合宿などで歌  
 われていました。




